

◆ 確認問題 ◆

→p.118

- 1 (1) 西南戦争 (2) 西郷隆盛
 (3) 民撰議院設立の建白書 (4) 自由民権運動
 (5) 国会期成同盟 (6) 自由
 (7) 立憲改進黨 (8) 秩父事件
 (9) ドイツ〔プロイセン〕 (10) 大日本帝国憲法
 (11) 教育勅語 (12) 貴族院
- 2 (1) 甲午農民戦争 (2) 下関条約
 (3) 台湾 (4) ロシア (5) 三国干渉
 (6) 義和団事件 (7) 日英同盟
 (8) 内村鑑三 (9) 与謝野晶子
 (10) アメリカ (11) ポーツマス条約
 (12) 日比谷焼き打ち事件
- 3 (1) 朝鮮総督府 (2) 孫文 (3) 中華民国

◆ ビジュアルチェック ◆

→p.119

- 1 A 国会開設 B 立憲改進黨
 C 大日本帝国憲法 D 帝国議會
 E 甲午 F 日清 G 下関
 H 義和団 I 日英 J 日露
 K ポーツマス L 辛亥
- 2 A 西郷隆盛 B 秩父
- 3 A 天皇 B 兵役 C 伊藤博文
 D ドイツ〔プロイセン〕
- 4 A 清 B 朝鮮 C ロシア
- 5 A イギリス B 日本 C ロシア
- 6 A 韓国〔朝鮮〕 B 同化

◆ 練習問題 ◆

→p.120 ~ p.121

- 1 (1) エ
 (2) ①自由民権運動 ②エ→ウ→ア→イ
 (3) ①(例) 君主権が強かったから。 ②ア
 ③教育勅語
 (4) ①(例) 直接国税15円以上を納める満25歳以上の男子。 ②ア (5) 貴族院
- 2 (1) ①イ ②位置イ 三国エ
 (2) ウ (3) ①イ ②国一ア
 条約—ポーツマス条約 ③(例) 日露戦争では、日清戦争よりも国民の負担が大きかったにもかかわらず、賠償金を得られなかったため。

- (4) ア (5) 三民主義 (6) ①ウ ②ア

解説

- 1 (1) 秩父事件は、1884年、生活に苦しむ埼玉県秩父地方の農民たちが、自由党員とともに、高利貸や郡役所をおそったできごとで、政府は軍隊を出して鎮圧した。
- (2)① 西南戦争後、専制政治(藩閥政治)を批判する運動は言論によるものが中心となり、自由民権運動が広がった。
- ② エ1880年、大阪で国会開設を求める国会期成同盟が結成された。→ウ政府が、多額の費用をかけてつくった開拓使の施設を不当に安い値段で薩摩藩の出身者が関係する商社に売ろうとしたため、政府を批判する声が高まった(開拓使官有物払い下げ事件)。1881年、国会開設の勅諭が出され、政府は10年後に国会を開設することを約束した。→ア国会開設の勅諭が出されたのちの1882年、大隈重信が立憲改進黨を結成した。→イ1885年、内閣制度が創設され、伊藤博文が初代の内閣総理大臣となった。
- (3)①「君主権」は「皇帝の権限」でも可。
- ② ア…大日本帝国憲法では、議会の召集・解散、軍隊の指揮、条約の締結や戦争を始めることなどは、天皇の権限とされた。
- (4)① 年齢・性別だけでなく、納税額の条件にもふれること。
- 2 (1)① 1894年、朝鮮南部で、東学を信仰する人々が、外国人の排斥と政治改革をめざして蜂起した。これを機に日本と清の両国が出兵し、日清戦争が始まった。
- ② ウの山東半島とまがえないようにする。遼東半島には軍事上の拠点である旅順・大連があった。
- (2) ロシアは19世紀から南下政策を進めていた。
- (3)① 「君死にたまふことなかれ」は、「教育勅語の精神に反している」といった批判を受けた。
- ② 日本に対して戦費を調達し、ロシアと対立しているア・ウはアメリカかイギリス。ウには日英同盟とあるので、アはアメリカとわかる。
- ③ 兵力・戦死者・戦費のいずれも日露戦争が日清戦争を上回っているが、日露戦争では賠償金を得られなかった点を読み取る。
- (4) 韓国統監府の支配に対して、韓国では激しい抵抗がおこった。
- (6) ①は1906年、②は1900年である。